



2014年度（平成27年3月期）  
第3四半期決算

# 参考資料

2015年1月30日  
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<http://www.eisai.co.jp/>

## 【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、ジェネリック医薬品に関するリスク、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性および品質に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、内部統制の整備等に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

## 目次

1. 連結損益計算書	1
2. 資本的支出及び減価償却費の状況	2
3. セグメント情報	2
4. 報告セグメント別情報	3
5. 主力品売上収益	7
6. セグメント別売上収益予想	9
7. 連結包括利益計算書	10
8. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主要開発品	17

### 為替レート

		米国 (円/米ドル)	欧州 (円/ユーロ)	英国 (円/ポンド)	中国 (円/人民元)
2013年度 第3四半期	期中平均レート	99.38	132.22	155.88	16.24
	期末日レート	105.39	145.05	173.76	17.36
2013年度 通期	期中平均レート	100.23	134.36	159.44	16.41
	期末日レート	102.92	141.65	171.31	16.59
2014年度 第3四半期	期中平均レート	106.87	140.30	175.57	17.29
	期末日レート	120.55	146.54	187.03	19.35
2014年度	第4四半期予想レート	119.00	147.50	187.85	19.35

- ・ 前回発表した通期の業績予想を修正しております。修正箇所には下線を付して下ります。
- ・ 当社は2013年度の連結財務諸表からIFRSを任意適用し、当第1四半期の連結財務諸表よりIFRSにて開示しています。
- ・ 当社グループは、当第3四半期連結会計期間より、重要性が高まっている中国事業を従来のアジア医薬品事業から独立させ、医薬品事業の構成を変更しました。これに伴い、医薬品事業を構成する日本(医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬)、アメリカス(北米、中南米)、中国、アジア(韓国、台湾、香港、インド、アセアン等)、EMEA(欧州、中東、アフリカ、オセアニア)、薬粧-日本(一般用医薬品等)の6つの事業セグメントを新たな報告セグメントとしています。また、本資料のセグメント情報に関する前年同四半期連結累計期間の数値を新しい報告セグメントに基づいて記載しています。なお、医薬品事業に含まれない事業はその他事業としています。
- ・ 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

# 1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2013年度				2014年度				2014年度 通期予想	
	3Q累計	売上比	通期	売上比	3Q累計	売上比	前同比	増減額	今回修正	前回発表
売上収益	4,451	100.0	5,995	100.0	4,085	100.0	91.8	△ 367	5,550	5,660
売上原価	1,475	33.1	1,947	32.5	1,431	35.0	97.0	△ 44	1,955	2,000
売上総利益	2,977	66.9	4,048	67.5	2,654	65.0	89.2	△ 323	3,595	3,660
販売費及び一般管理費	1,518	34.1	2,033	33.9	1,434	35.1	94.5	△ 84	1,980	1,915
販売費	603	13.5	789	13.2	510	12.5	84.6	△ 93	-	-
人件費	548	12.3	742	12.4	582	14.2	106.1	33	-	-
管理費他	367	8.2	502	8.4	342	8.4	93.3	△ 24	-	-
研究開発費	1,034	23.2	1,363	22.7	979	24.0	94.6	△ 56	1,315	1,215
その他の収益	38	0.9	41	0.7	7	0.2	18.5	△ 31	-	-
その他の費用	11	0.2	28	0.5	10	0.2	89.0	△ 1	-	-
営業利益	451	10.1	664	11.1	238	5.8	52.8	△ 213	300	530
金融収益	15	0.3	18	0.3	15	0.4	100.9	0	-	-
金融費用	45	1.0	59	1.0	37	0.9	82.4	△ 8	-	-
税引前四半期(当期)利益	422	9.5	623	10.4	217	5.3	51.4	△ 205	270	495
法人所得税	142	3.2	238	4.0	△152	△3.7	-	△ 294	-	-
四半期(当期)利益	280	6.3	385	6.4	368	9.0	131.7	89	350	350
四半期(当期)利益の帰属										
親会社所有者	278	6.2	383	6.4	367	9.0	132.2	89	-	-
非支配持分	2	0.0	3	0.0	2	0.0	73.4	△ 1	-	-

四半期(当期)包括利益	797	17.9	845	14.1	1,037	25.4	130.1	240
-------------	-----	------	-----	------	-------	------	-------	-----

EPS (円)	97.4	134.1	128.6	122.0	122.4
DPS (円)	-	150.0	-	150.0	150.0
ROE (%)	-	7.6	-	6.3	6.7
DOE (%)	-	8.5	-	7.7	8.2
海外売上収益比率 (%)	40.3	40.8	42.3		

・通期予想の販売費及び一般管理費にはその他の収益・費用が含まれています。

・EPS：基本的1株当たり四半期(当期)利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

## <コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルブランド（ハラヴェン、Fycompa、Belviaq）の成長</li> <li>米国におけるアシフェックスの独占販売期間満了による減少、日本における薬価改定の影響や市場の競争激化</li> </ul>
■売上原価率	<ul style="list-style-type: none"> <li>品目ミックスの変化による上昇</li> </ul>
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同販促パートナーへの提携費用支払い減少</li> <li>構造改革による費用効率化の進展</li> <li>グローバルブランド、アジア・新規進出国への積極投資</li> </ul>
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年同期にマイルストーン支払い発生</li> <li>共同開発に関するオプション権行使による一時金受領</li> <li>プロダクトクリエーション（研究開発）加速に向けた積極的な資源投入</li> </ul>
■四半期利益	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国子会社の資本の払戻しを実施した結果、税金費用が減少</li> </ul>
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上収益：114億円、営業利益：△29億円</li> </ul>
■為替感応度 (1円の円安に対しての年間影響額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上収益：米ドル 11.2億円、ユーロ 2.2億円、英ポンド 0.3億円</li> <li>営業利益：米ドル △6.0億円、ユーロ 1.3億円、英ポンド △0.9億円</li> </ul>

## 2. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2013年度		2014年度			
	3Q累計	通期	3Q累計	増減額	通期予想 今回修正	前回発表
資本的支出額	225	312	110	△ 114	200	275
有形固定資産	54	123	58	3	95	120
無形資産	170	189	52	△ 118	105	155
減価償却費及び償却費	299	399	285	△ 14	385	376

## 3. セグメント情報

### 1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2013年度		2014年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	為替影響除く 前同比
日本 医薬品事業	2,407	3,110	2,133	88.6	88.6
アメリカス 医薬品事業	1,068	1,589	875	82.0	76.2
米国	1,063	1,583	869	81.7	76.0
中国 医薬品事業	236	318	300	127.4	119.6
アジア 医薬品事業	198	262	228	115.3	107.5
EMEA 医薬品事業	238	320	285	119.8	112.3
薬粧 - 日本 (一般用医薬品等)	145	193	132	91.2	91.2
その他事業	160	202	131	81.8	80.7
連結売上収益	4,451	5,995	4,085	91.8	89.2

・ 外部顧客に対する売上収益を示しています。

### 2) セグメント利益

(億円、%)

	2013年度		2014年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	為替影響除く 前同比
日本 医薬品事業	1,222	—	959	78.5	78.5
アメリカス 医薬品事業	173	—	110	63.6	59.9
中国 医薬品事業	59	—	83	139.3	125.4
アジア 医薬品事業	44	—	55	125.1	113.8
EMEA 医薬品事業	35	—	48	139.2	130.8
薬粧 - 日本 (一般用医薬品等)	28	—	12	42.1	42.1
その他事業	64	—	35	54.6	53.1
研究開発費	1,034	—	979	94.6	89.5
親会社の本社管理費等	140	—	85	60.5	60.5
連結営業利益	451	—	238	52.8	59.3

## 4. 報告セグメント別情報

### 1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	2,407	3,110	2,133	88.6
医療用医薬品	2,191	2,816	1,895	86.5
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）	171	234	194	113.2
診断薬（エーティア）	44	60	44	99.6
セグメント利益	1,222	—	959	78.5
<b>日本 医療用医薬品 主力品売上収益</b>				
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	523	650	370	70.8
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	369	473	288	78.1
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	223	288	228	102.0
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	196	252	172	87.8
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	138	194	160	116.3
経口抗凝固剤 ワーファリン	75	97	67	89.2
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	60	77	52	85.9
抗がん剤 ハラヴェン	50	64	45	91.5
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	53	67	37	69.7
不眠症治療薬 ルネスタ	20	29	34	167.2

- パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含めています。
- リリカの売上収益は共同販促収入です。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米、中南米)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	1,068	1,589	875	82.0 <76.2>
米国	1,063	1,583	869	81.7 <76.0>
セグメント利益	173	—	110	63.6 <59.9>
<b>アメリカス 主力品売上収益</b>				
制吐剤 Aloxi	322	429	362	112.5 <104.7>
米国 (百万米ドル)	322 (324)	429 (428)	362 (339)	112.5 <104.6>
抗がん剤 ハラヴェン	99	134	119	120.5 <112.3>
米国 (百万米ドル)	97 (98)	131 (130)	116 (109)	119.6 <111.2>
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	334	377	94	28.3 <26.3>
米国 (百万米ドル)	334 (336)	377 (376)	94 (88)	28.3 <26.3>
抗てんかん剤 Banzel	56	76	73	130.6 <121.5>
米国 (百万米ドル)	55 (56)	75 (75)	72 (68)	131.0 <121.8>
肥満症治療剤 Belvia	17	25	39	235.6 <219.1>
米国 (百万米ドル)	17 (17)	25 (25)	39 (37)	235.6 <219.1>
抗てんかん剤 Fycompa	0	8	9	3709.0 <3472.4>
米国 (百万米ドル)	— (—)	7 (7)	8 (7)	— <—>

- ・アシフェックス、Belviaの自社販売国は米国のみです。
- ・前同士の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

### 3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	236	318	300	127.4 <119.6>
セグメント利益	59	—	83	139.3 <125.4>
<b>中国 主力品売上収益</b>				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール (百万人民元)	105 (645)	138 (844)	130 (750)	123.8 <116.2>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠 (百万人民元)	38 (234)	54 (331)	49 (283)	129.1 <121.3>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト (百万人民元)	28 (170)	38 (234)	34 (198)	123.8 <116.3>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット (百万人民元)	16 (99)	22 (135)	21 (121)	131.0 <123.0>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

### 4) アジア 医薬品事業 (韓国、台湾、香港、インド、アセアン等)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	198	262	228	115.3 <107.5>
セグメント利益	44	—	55	125.1 <113.8>
<b>アジア 主力品売上収益</b>				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	61	81	68	111.4 <102.0>
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	53	68	60	114.3 <104.7>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	26	35	27	105.6 <100.5>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	17	23	20	112.0 <108.0>
抗がん剤 ハラヴェン	3	5	8	269.1 <251.3>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、オセアニア)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	238	320	285	119.8 <112.3>
セグメント利益	35	—	48	139.2 <130.8>
<b>EMEA 主力品売上収益</b>				
抗がん剤 ハラヴェン	61	85	84	137.8 <128.6>
抗てんかん剤 ゾネグラン	49	66	61	125.6 <117.5>
抗てんかん剤 Zebinix	18	24	24	135.7 <127.4>
抗てんかん剤 Fycompa	10	13	17	177.3 <164.2>
抗てんかん剤 イノベロン	14	19	16	114.0 <106.6>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

6) 薬粧 - 日本 (一般用医薬品等)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	145	193	132	91.2
セグメント利益	28	—	12	42.1
<b>薬粧 - 日本 主力ブランド売上収益</b>				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	92	120	83	89.6



## 5. 主力品売上収益

### 1) がん関連領域製品

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
がん関連領域製品計	773	1,007	726	93.9 <88.2>
ハラヴェン (抗がん剤)	213	288	258	120.9 <114.2>
日本	50	64	45	91.5
アメリカス	99	134	119	120.5 <112.3>
アジア	3	5	8	269.1 <251.3>
EMEA	61	85	84	137.8 <128.6>
Aloxi (制吐剤)	322	429	362	112.5 <104.7>
トレアキシシ/シンベンダ (抗がん剤)	30	39	28	93.2 <92.6>
その他	208	251	78	37.5 <35.4>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

### 2) てんかん領域製品

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
てんかん領域製品計	173	241	229	131.9 <123.5>
Fycompa (抗てんかん剤)	10	21	26	261.9 <243.4>
アメリカス	0	8	9	3709.0 <3472.4>
EMEA	10	13	17	177.3 <164.2>
ソネグラン (抗てんかん剤)	68	91	78	114.9 <107.3>
EMEA	49	66	61	125.6 <117.5>
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	71	97	92	128.9 <120.2>
アメリカス	56	76	73	130.6 <121.5>
EMEA	14	19	16	114.0 <106.6>
Zebinix (抗てんかん剤)	18	24	24	135.7 <127.4>
その他	6	9	8	132.7 <132.7>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

### 3) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
パリエット/アシフェックス計	750	914	435	58.1 <56.8>
日本	369	473	288	78.1
アメリカス	334	377	94	28.3 <26.3>
中国	16	22	21	131.0 <123.0>
アジア	26	35	27	105.6 <100.5>

・日本のパリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含めています。

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

### 4) アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
アリセプト計	664	827	494	74.5 <73.1>
日本	523	651	370	70.8
中国	28	38	34	123.8 <116.3>
アジア	61	81	68	111.4 <102.0>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本のみです。

6. セグメント別売上収益予想（2014年度）

（億円）

	2013年度		2014年度 通期予想		
	3Q累計	通期	3Q累計	今回修正	前回発表
日本	2,407	3,110	2,133	2,855	3,075
医療用医薬品	2,191	2,816	1,895	2,525	2,740
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	523	650	370	505	595
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	369	473	288	380	420
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	223	288	228	305	305
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	196	252	172	230	230
経口抗凝固剤 ワーファリン	75	97	67	90	90
抗がん剤 ハラヴェン	50	64	45	60	90
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	60	77	52	70	70
不眠症治療薬 ルネスタ	20	29	34	50	65
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルバックス	53	67	37	50	60
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）	171	234	194	270	275
診断薬（エーディア）	44	60	44	60	60
アメリカス	1,068	1,589	875	1,220	1,115
米国	1,063	1,583	869	1,210	1,100
中国	236	318	300	410	380
アジア	198	262	228	310	295
EMEA	238	320	285	400	400
薬粧 - 日本（一般用医薬品等）	145	193	132	175	210
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	92	120	83	105	125
その他	160	202	131	180	185
連結売上収益	4,451	5,995	4,085	5,550	5,660
主要品目グローバル売上収益					
パリエット/アシフェックス	750	914	435	570	530
アリセプト	664	827	494	685	755
ハラヴェン	213	288	258	365	390
日本	50	64	45	60	90
アメリカス	99	134	119	165	155
EMEA	61	85	84	130	135
アジア	3	5	8	10	10
Fycompa	10	21	26	50	95
アメリカス	0	8	9	23	70
EMEA	10	13	17	27	25

## 7. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2013年度		2014年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	増減額
四半期(当期)利益	280	385	368	131.7	89
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	28	38	△2	—	△30
確定給付制度に係る再測定	—	25	—	—	—
小計	28	64	△2	—	△30
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	483	388	667	138.2	184
キャッシュ・フロー・ヘッジ	7	8	3	47.1	△4
小計	489	396	670	137.0	181
その他の包括利益合計	517	460	668	129.2	151
四半期(当期)包括利益	797	845	1,037	130.1	240
四半期(当期)包括利益の帰属					
親会社所有者	795	843	1,035	130.1	240
非支配持分	2	2	2	115.0	0

## 8. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2013年度		2014年度	
	3Q累計		3Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前四半期利益	422		217	△ 205
減価償却費及び償却費	299		285	△ 14
減損損失	3		0	△ 3
運転資本の増減額 (△は増加)	94		△ 22	△ 116
利息及び配当金の受取額	15		14	△ 1
利息の支払額	△ 42		△ 33	8
法人所得税の支払額	△ 222		△ 92	129
法人所得税の還付額	2		39	37
その他	72		4	△ 68
営業活動によるキャッシュ・フロー	644		412	△ 232
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出 ①	△ 63		△ 95	△ 32
有形固定資産の売却による収入 ②	28		22	△ 7
無形資産の取得による支出 ③	△ 170		△ 53	117
<資本的支出等(キャッシュベース)> ①+②+③	△ 205		△ 126	79
金融資産の取得による支出	△ 39		△ 65	△ 26
金融資産の売却・償還による収入	103		74	△ 28
3カ月超預金の預入による支出	△ 145		△ 290	△ 146
3カ月超預金の払戻による収入	396		145	△ 251
支配の喪失を伴う子会社株式売却による収入	9		—	△ 9
その他	△ 1		1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	118		△ 261	△ 379
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の増減額 (△は減少)	76		210	134
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	100		—	△ 100
長期借入れによる収入	—		1,069	1,069
長期借入金の返済による支出	△ 199		△ 1,177	△ 979
社債の償還による支出	△ 500		—	500
配当金の支払額	△ 428		△ 428	△ 0
その他	△ 8		△ 8	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 959		△ 334	624
現金及び現金同等物に係る換算差額	181		237	56
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 16		53	68
現金及び現金同等物の期首残高	1,425		1,539	115
現金及び現金同等物の期末残高	1,409		1,592	183

フリー・キャッシュ・フロー	439	285	△ 153
---------------	-----	-----	-------

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

### <コメント>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
  - ・税引前四半期利益の減少等
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
  - ・前年同期は社債返済原資として3カ月超預金の払戻による収入発生
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
  - ・米国での長期借入金の返済。前年同期は社債償還による支出発生

## 9. 連結財政状態計算書

### <資産の部>

(億円、%)

	2014年		12月末	2014年		増減額
	3月末	構成比		構成比	前期末比	
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,341	13.8	1,351	12.9	100.8	10
のれん	1,574	16.2	1,843	17.6	117.1	270
無形資産	1,084	11.1	1,060	10.1	97.8	△ 23
その他の金融資産	408	4.2	377	3.6	92.5	△ 31
その他	42	0.4	31	0.3	74.4	△ 11
繰延税金資産	692	7.1	952	9.1	137.5	260
非流動資産合計	5,140	52.8	5,615	53.5	109.2	475
流動資産						
棚卸資産	877	9.0	874	8.3	99.6	△ 3
営業債権及びその他の債権	1,865	19.2	1,931	18.4	103.5	65
その他の金融資産	202	2.1	382	3.6	189.2	180
その他	114	1.2	108	1.0	95.0	△ 6
現金及び現金同等物	1,539	15.8	1,592	15.2	103.4	53
流動資産合計	4,598	47.2	4,887	46.5	106.3	289
資産合計	9,738	100.0	10,502	100.0	107.8	763

### <コメント>

#### ■資産の部

- ・円安の影響による海外子会社資産の増加、米国子会社の資本の払戻しの結果、繰延税金資産の増加

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2014年		2014年			
	3月末	構成比	12月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.6	450	4.3	100.0	—
資本剰余金	579	6.0	580	5.5	100.0	0
自己株式	△ 385	△ 4.0	△ 380	△ 3.6	98.8	5
利益剰余金	3,792	38.9	3,729	35.5	98.3	△ 63
その他の資本の構成要素	827	8.5	1,496	14.2	181.0	670
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,263	54.0	5,875	55.9	111.6	611
非支配持分	31	0.3	32	0.3	104.5	1
資本合計	5,294	54.4	5,907	56.2	111.6	613
負債						
非流動負債						
社債及び借入金	1,957	20.1	2,059	19.6	105.2	102
その他の金融負債	26	0.3	28	0.3	105.1	1
退職後給付に係る負債	155	1.6	152	1.4	97.9	△ 3
引当金	11	0.1	11	0.1	94.9	△ 1
その他	277	2.8	305	2.9	109.9	28
繰延税金負債	3	0.0	6	0.1	164.5	2
非流動負債合計	2,431	25.0	2,560	24.4	105.3	129
流動負債						
社債及び借入金	515	5.3	572	5.4	111.1	57
営業債務及びその他の債務	622	6.4	493	4.7	79.2	△ 130
その他の金融負債	51	0.5	70	0.7	136.3	19
未払法人所得税	39	0.4	43	0.4	108.6	3
引当金	130	1.3	98	0.9	75.2	△ 32
その他	655	6.7	759	7.2	115.9	104
流動負債合計	2,013	20.7	2,035	19.4	101.1	21
負債合計	4,444	45.6	4,595	43.8	103.4	151
資本及び負債合計	9,738	100.0	10,502	100.0	107.8	763

<コメント>

- 資本の部  
・円安に伴う為替換算差額の増加

## 10. 連結四半期業績の推移

### 1) 損益計算書項目

	2013年度				2014年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上収益	1,528	1,516	1,407	1,544	1,328	1,362	1,394
売上原価	462	471	542	472	481	457	493
売上総利益	1,066	1,045	865	1,072	847	905	901
販売費及び一般管理費	506	508	504	515	472	475	487
販売費	218	231	154	186	168	186	156
人件費	184	177	188	193	193	184	204
管理費他	104	100	162	136	110	105	127
研究開発費	373	305	357	329	291	330	358
その他の収益	3	34	1	2	2	4	1
その他の費用	4	3	3	17	1	9	△0
営業利益	186	263	2	213	85	96	58
金融収益	7	3	5	3	6	3	6
金融費用	16	14	14	14	13	13	11
税引前四半期利益	177	252	△7	201	77	86	53
法人所得税	53	70	19	96	20	38	△210
四半期利益	123	182	△25	105	57	48	263
四半期利益の帰属							
親会社所有者	123	181	△26	105	57	47	263
非支配持分	1	1	1	0	1	0	1
四半期包括利益	298	190	309	48	7	350	679
EPS (円)	43.0	63.5	△9.1	36.8	19.9	16.6	92.1

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

### 2) 資本的支出及び減価償却費の状況

	2013年度				2014年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
資本的支出額	106	19	100	87	38	33	40
有形固定資産	15	9	30	69	19	26	12
無形資産	91	10	70	19	19	6	27
減価償却費及び償却費	103	98	98	100	93	94	98



### 3) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2013年度				2014年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	146	291	208	269	79	292	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	268	△85	△65	91	△41	△90	△131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△822	△58	△79	△193	△287	△33	△14
現金及び現金同等物の期末残高	1,083	1,228	1,409	1,539	1,271	1,556	1,592
フリー・キャッシュ・フロー	28	290	121	355	47	243	△5

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

### 4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2013年度				2014年度		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
資産	9,626	9,742	10,076	9,738	9,386	9,699	10,502
資本	4,950	5,135	5,244	5,294	5,074	5,426	5,907
親会社の所有者に帰属する持分	4,912	5,105	5,214	5,263	5,043	5,395	5,875
負債	4,675	4,608	4,832	4,444	4,312	4,273	4,595
社債	300	300	300	300	300	300	300
借入金	2,274	2,216	2,272	2,173	2,110	2,103	2,332
コマーシャルペーパー	—	—	100	—	—	—	—
親会社所有者帰属持分比率（％）	51.0	52.4	51.7	54.0	53.7	55.6	55.9
負債比率（Net DER／倍）	0.29	0.22	0.20	0.14	0.18	0.11	0.11

・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（社債及び借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等）÷親会社の所有者に帰属する持分

## 5) 主力品売上収益の四半期推移

### (1) がん関連領域製品

(億円)

	2013年度				2014年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
がん関連領域製品計	271	266	236	234	242	226	258
ハラヴェン (抗がん剤)	69	69	75	75	82	83	93
日本	16	16	17	15	16	14	16
アメリカス	33	32	34	34	38	38	43
アジア	1	1	2	2	2	3	3
EMEA	20	19	22	24	26	28	31
Aloxi (制吐剤)	103	111	108	107	126	110	126
トレアキシン/シンペンダ (抗がん剤)	10	10	10	9	10	9	10
その他	88	76	43	43	25	24	29

### (2) てんかん領域製品

(億円)

	2013年度				2014年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
てんかん領域製品計	55	52	66	68	71	75	83
Fycompa (抗てんかん剤)	6	1	3	11	7	8	11
アメリカス	0	0	0	7	2	3	4
EMEA	6	1	3	3	5	5	7
ソネグラン (抗てんかん剤)	21	22	25	23	26	27	25
EMEA	15	16	17	17	19	19	23
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	20	21	30	26	29	28	35
アメリカス	15	17	24	20	22	22	28
EMEA	5	4	5	5	5	5	6
Zebinix (抗てんかん剤)	5	6	6	7	7	8	9
その他	2	2	3	2	3	3	3

### (3) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

(億円)

	2013年度				2014年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
パリエット/アシフェックス計	299	289	162	165	163	129	143
日本	128	124	118	104	108	84	97
アメリカス	155	151	28	43	39	28	27
中国	5	5	6	6	7	6	8
アジア	9	8	8	9	8	9	10
EMEA	2	1	2	2	1	1	2

・日本のパリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキユアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。

### (4) アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)

(億円)

	2013年度				2014年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
アリセプト計	232	221	210	164	164	155	175
日本	183	173	167	128	134	107	128
中国	10	8	10	11	11	11	12
アジア	20	22	20	20	21	23	24

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本のみです。

## 11. 主要開発品

### <自社開発品一覧>

品目	効能追加*	開発ステージ**	領域
<b>承認取得品</b>			
○ ハラヴェン（乳がんセカンドライン）	効能	（欧）承認	がん・支持療法
○ アリセプト（レビー小体型認知症）	効能	（日）承認	神経
◎ パリエット（低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制および5mg錠）	効能、剤形	（日）承認	消化器・肝臓
<b>申請中・申請準備中開発品</b>			
cinitapride（機能性ディスペプシア）		（中）申請	消化器・肝臓
タンボコール（小児用細粒製剤）	剤形	（日）申請	血管・免疫反応
◎ E7080（甲状腺がん）		（日米欧ア）申請	がん・支持療法
○ Fycompa（全般てんかん）	効能	（米欧）申請	神経
○ ディーシー ピース（多血性腫瘍に対する血管塞栓療法）	効能	（日）申請	がん・支持療法
○ イノバロン/Banzel（レノックス・ガストー症候群の小児適応）	効能	（米）申請	神経
<b>臨床試験中開発品（フェーズⅡ以上）</b>			
Fycompa（部分てんかん）		（日中ア）PⅢ	神経
E5501（特発性血小板減少性紫斑病(ITP)）		（米欧ア）PⅢ	血管・免疫反応
E5501（手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症）		（日米欧ア）PⅢ	血管・免疫反応
ハラヴェン（乳がんセカンドライン）		（中）PⅢ	がん・支持療法
E7080（肝細胞がん）		（日米欧中ア）PⅢ	がん・支持療法
Fycompa（全般てんかん）	効能	（日ア）PⅢ	神経
ハラヴェン（非小細胞肺癌がん）	効能	（日米欧ア）PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン（肉腫）	効能	（米欧ア）PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン（HER2 陰性乳がんファースト/セカンドライン）	効能	（米）PⅢ	がん・支持療法
アリセプト（高度アルツハイマー型認知症）	効能	（中）PⅢ	神経
パリエット（PPI 抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法）	効能	（日）PⅢ	消化器・肝臓
E0302（筋萎縮性側索硬化症(ALS)）		（日）PⅡ/Ⅲ	神経
BAN2401（アルツハイマー型認知症）		（米欧）PⅡ	神経
E2006（不眠症）		（米）PⅡ	神経
◎ E2609（アルツハイマー型認知症）		（米）PⅡ	神経
E5501（C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症）		（米）PⅡ	血管・免疫反応
E6005（アトピー性皮膚炎）		（日）PⅡ	血管・免疫反応
E7080（子宮内膜がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7080（メラノーマ）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7080（非小細胞肺癌がん、セカンドライン・単剤）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7080（非小細胞肺癌がん、RET 転座）		（日米欧ア）PⅡ	がん・支持療法
E7080（腎細胞がん）		（米欧）PⅠ/PⅡ	がん・支持療法
E7820（大腸がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
◎ MORAb-003（プラチナ感受性卵巣がん）		（日米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-003（非小細胞肺癌がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004（メラノーマ）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004（大腸がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004（肉腫）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-009（中皮腫）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
Fycompa（部分てんかん小児適応）	効能	（米欧）PⅡ	神経
アリセプト（ダウン症候群の退行様症状）	効能	（日）PⅡ	神経
ハラヴェン（肉腫）	効能	（日）PⅡ	がん・支持療法
Ontak（メラノーマ）	効能	（米）PⅡ	がん・支持療法
パリエット（機能性ディスペプシア）	効能	（日）PⅡ	消化器・肝臓
Belvii（禁煙補助）	効能	（米）PⅡ	神経

\* 効能：効能効果追加、用法：用法用量追加、剤形：剤形追加

\*\* 日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、ア：日本・中国を除くアジア P = Phase：臨床試験段階

- ・糖尿病合併症治療剤「AS-3201」について、米国、欧州で実施していたフェーズⅡ/Ⅲ試験を終了し、今後の開発方針を検討していましたが、開発を中止しました。
- ・抗がん剤「E7080」について、米国でフェーズⅡ試験段階にありましたグリオーマに係る適応を対象とした開発を優先順位の観点から中止しました。
- ・抗がん剤「E7016」について、米国でフェーズⅡ試験段階にありましたメラノーマに係る適応を対象とした開発を中止しました。
- ・抗がん剤「MORAb-003」について、プラチナ感受性卵巣がんに係る適応について、今後の開発方針を検討していましたが、日本、米国、欧州で新たなフェーズⅡ試験を開始しました。
- ・アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」の高用量製剤（23mg）について、日本で実施したフェーズⅢ試験において主要評価項目を達成することができませんでした。この結果を受け、日本での高用量製剤の開発中止を決定しました。

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年10月以降の進捗

## (1) がん・支持療法

開発品コード：E7389 一般名：エリブリン 製品名：ハラヴェン

薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤		自社品		
[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。乳がんをはじめ、各種固形がんの効果を目指しています。米国・欧州・日本・アジアなど、58カ国で乳がんに係る承認を取得しています。また、2014年6月に欧州における乳がんセカンドラインについて承認を取得いたしました。セカンドラインについては39カ国で承認を取得しています。				
○ 乳がんセカンドライン（効能追加）	301試験	欧州	承認（2014年6月）	注射剤
乳がんサードライン	304試験	中国	PⅢ	2015年度申請予定 注射剤
HER2陰性乳がんファースト／セカンドライン（効能追加）	303試験	米国	PⅢ	注射剤
非小細胞肺癌（効能追加）	302試験	日米欧ア	PⅢ	注射剤
肉腫（効能追加）	309試験 217試験	米欧ア 日本	PⅢ PⅡ	2015年度申請予定 注射剤
膀胱がん（効能追加）	702試験	米欧	PⅠ/PⅡ	注射剤
リボソーム製剤（剤形追加）		欧州	PⅠ	注射剤

・非小細胞肺癌を対象にしたフェーズⅢ試験の結果から、2014年度の申請予定を見直し、今後の開発方針を検討中です。

開発品コード：E7080 一般名：レンパチニブ

薬効／作用機序：抗がん剤／分子標的治療薬		自社品		
[概要] 腫瘍血管新生あるいは腫瘍増殖に関する受容体型チロシンキナーゼ（RTK）に対する選択的阻害活性を有する経口投与可能な分子標的治療薬であり、特に、甲状腺がんにおいては、VEGFR、FGFRおよびRETを同時に阻害するとともに、VEGFR2との共結晶解析により新たな結合様式（タイプV）を示すことが確認されており、素早く強力なキナーゼ阻害作用を発揮します。その他の各種固形がんにも効果を期待しています。				
甲状腺がん	303試験	○ 日本 ○ 米国 ○ 欧州 ◎ アジア	申請（2014年6月） 申請（2014年8月）受理（同年10月） 申請（2014年8月）受理（同年9月） 申請（2014年11月～）	経口剤
肝細胞がん	304試験	日米欧中ア	PⅢ	経口剤
子宮内膜がん	204試験	米欧	PⅡ	経口剤
メラノーマ	702試験	米欧	PⅡ	経口剤
非小細胞肺癌（サードライン・単剤）	703試験	米欧	PⅡ	経口剤
非小細胞肺癌（RET転座）	209試験	日米欧ア	PⅡ	経口剤
腎細胞がん	205試験	米欧	PⅠ/PⅡ	経口剤

・米国でフェーズⅡ試験段階にありましたグリオーマに係る適応を対象とした開発を優先順位の観点から中止しました。

開発品コード：MORAb-003 一般名：ファルレッツマブ

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗葉酸受容体αモノクローナル抗体		自社品		
[概要] 葉酸受容体α（FRA）に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
◎ プラチナ感受性卵巣がん	O11試験	日米欧	PⅡ	注射剤
非小細胞肺癌	O09試験	米欧	PⅡ	注射剤

・開発方針を検討していましたプラチナ感受性卵巣がんに係る適応について、日米欧で新たなフェーズⅡ試験を開始しました。

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年10月以降の進捗

開発品コード：MORAb-004

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体			自社品
[概要] Tumor endothelial marker 1 (TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
メラノーマ	201試験	米欧 P II	注射剤
大腸がん	202試験	米欧 P II	注射剤
肉腫	203試験	米欧 P II	注射剤

開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab

薬効／作用機序：抗がん剤／キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体			自社品
[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
中皮腫	003試験	米欧 P II	注射剤

開発品コード：E7820

薬効／作用機序：抗がん剤／インテグリン $\alpha$ 2発現抑制剤			自社品
[概要] 血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン $\alpha$ 2の発現抑制作用により血管新生を阻害します。			
大腸がん	702試験	米欧 P II	経口剤

開発品コード：E7272 一般名：denileukin diftitox 製品名：Ontak

薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤			自社品
[概要] インターロイキン2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。すでに米国でCD25 (IL-2受容体の構成要素) 陽性の皮膚T細胞リンパ腫治療剤として承認を取得しています。			
メラノーマ (効能追加)	701試験	米国 P II	注射剤

開発品コード：E7040 製品名：ディーシー ピーズ

薬効／作用機序：血管塞栓用ピース／医療機器			導入品 (Biocompatibles)
[概要] 架橋化ポリビニルアルコール高分子からなる親水性の球状微粒子であり、注入用カテーテルを通じて目標とする血管を選択的に塞栓するための血管塞栓用ピースです。微細で均一な球状の粒子であるため、血管径や腫瘍の大きさ等の対象範囲に合わせた持続的な塞栓効果が期待できます。日本において、肝細胞癌患者に対する肝動脈塞栓療法を使用目的として承認を取得しています。			
○ 多血性腫瘍に対する血管塞栓療法 (効能追加)	301試験	日本 申請 (2014年9月)	血管塞栓材

開発品コード：E7438

抗がん剤 (EZH2阻害剤)	P I / P II	導入品 (Epizyme)	経口剤
----------------	------------	---------------	-----

開発品コード：E7090

○ 抗がん剤	P I	自社品	経口剤
--------	-----	-----	-----

開発品コード：MORAb-066

抗がん剤 (抗体)	P I	導入品 (Janssen Biotech)	注射剤
-----------	-----	-----------------------	-----

・ポリ ADP リボースポリメラーゼ阻害剤「E7016」について、米国においてフェーズII試験段階にありましたメラノーマに係る適応を対象とした開発を中止しました。

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年10月以降の進捗

## (2) 神経

開発品コード：E2020 一般名：ドネペジル 製品名：アリセプト

薬効／作用機序：アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤				自社品
[概要] 神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症（AD）の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、すでに世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。2014年9月には、日本においてレビー小体型認知症の効能・効果の追加承認を取得しました。				
○ レビー小体型認知症（効能追加）	341試験	日本	承認（2014年9月）	経口剤
高度アルツハイマー型認知症（効能追加）	339試験	中国	PⅢ	2014年度申請予定
ダウン症候群の退行様症状（効能追加）	345試験	日本	PⅡ	経口剤
パッチ製剤（剤形追加、E2022）		日本	PⅠ	（帝國製薬との共同開発） 貼付剤

・2014年度申請予定であった高用量製剤（23mg）について、日本で実施したフェーズⅢ試験において主要評価項目を達成することができませんでした。この結果を受け、日本での高用量製剤の開発中止を決定しました。

開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル 製品名：Fycompa

薬効／作用機序：抗てんかん剤／AMPA受容体拮抗剤				自社品
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して欧州、米国およびカナダなど、43カ国で承認を取得しています。				
部分てんかん	335試験	日中ア	PⅢ	2015年度申請予定
全般てんかん（効能追加）	332試験	○ 米国	申請（2014年8月）受理（同年10月）	経口剤
		○ 欧州	申請（2014年8月）受理（同年9月）	経口剤
		日ア	PⅢ	2015年度申請予定
部分てんかん小児適応（効能追加）	232試験	米欧	PⅡ	経口剤

・日本の全般てんかんは、部分てんかんと同時に2015年度に申請することを予定しています。

開発品コード：E0302 一般名：メコバラミン

薬効／作用機序：筋萎縮性側索硬化症				自社品
[概要] メコバラミン（生体内補酵素型ビタミンB <sub>12</sub> ）製剤であり、傷ついた末梢神経を修復する作用があります。すでに末梢性神経障害治療剤として広く使われており、新たに、筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療剤をめざしています。				
筋萎縮性側索硬化症（ALS）	761/762試験	日本	PⅡ/Ⅲ	2014年度申請予定
				注射剤

開発品コード：E2080 一般名：ルフィナミド 製品名：イノベロン/Banzel

薬効／作用機序：抗てんかん剤				導入品（ノバルティス）
[概要] 新規構造のトリアゾール誘導体で、過剰電荷を帯びている脳内ナトリウムチャネルの活動を調節します。小児から発症する重篤な難治性てんかんの一つであるレノックス・ガストー症候群の併用療法に係る適応で、日本、欧州、米国で承認を取得しています。ブランド名は、日本、欧州では「イノベロン（Inovelon）」、米国では「Banzel」です。				
○ レノックス・ガストー症候群の小児適応（効能追加）	303試験	米国	申請（2014年8月）受理（同年10月）	経口剤

開発品コード：BAN2401

薬効／作用機序：アルツハイマー型認知症治療剤／ヒト化抗Aβプロトフィブリルモノクローナル抗体				導入品（バイオアクティク ニューロサイエンス）
[概要] アミロイドベータ（Aβ）プロトフィブリルに対するヒト化IgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されているAβプロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー型認知症の進行を抑制することを期待しています。				
アルツハイマー型認知症	201試験	米欧	PⅡ	注射剤
		日本	PⅠ	

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年10月以降の進捗

開発品コード：E2006

薬効／作用機序：不眠症治療剤／オレキシン受容体拮抗剤			自社品
[概要] 新規作用機序の睡眠導入剤です。覚醒状態を維持するオレキシン受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、自然な睡眠の誘発を期待しています。			
不眠症	201試験	米国 P II	経口剤

開発品コード：E2609

薬効／作用機序：アルツハイマー型認知症治療剤／βサイト切断酵素（BACE）阻害剤			自社品
[概要] BACE阻害剤です。アミロイド前駆体タンパク質のβサイト切断酵素であるBACEを阻害することで、βアミロイドの総量を低下させ、アルツハイマー型認知症の進行を抑制することを期待しています。			
◎ アルツハイマー型認知症	202試験	米国 P II	経口剤

開発品コード：APD356 一般名：Lorcaserin 製品名：Belvia

薬効／作用機序：肥満症治療剤／セロトニン2C受容体作動剤			導入品 (Arena Pharmaceuticals)
[概要] 新規作用機序の肥満症治療剤です。選択的に脳内のセロトニン2C受容体を刺激することにより摂食を抑制し、満腹感を促進すると考えられています。本剤は、米国において、ボディ・マス・インデックス（BMI）が30kg/m <sup>2</sup> 以上、あるいは少なくとも1つ以上の合併症を患うBMIが27kg/m <sup>2</sup> 以上の成人患者様の体重管理を目的とした食事療法と運動療法に対する補助療法として、2012年6月に米国食品医薬品局（FDA）より承認され、米国麻薬取締局によるスケジューリング指定を経て、2013年6月に発売されました。新たに、禁煙補助の適応取得をめざした開発を進めています。			
禁煙補助（効能追加）	O35試験	米国 P II	（Arena社と共同開発） 経口剤
肥満症		日本 P I	経口剤

開発品コード：E2307

○ アルツハイマー型認知症	P I	自社品	経口剤
---------------	-----	-----	-----

・糖尿病合併症治療剤「AS-3201」について、米国、欧州で実施していたフェーズⅡ/Ⅲ試験を終了し、今後の開発方針を検討していましたが、開発を中止しました。

### (3) 血管・免疫反応

一般名：フレカイニド 製品名：タンボコール

薬効／作用機序：頻脈性不整脈治療剤			自社品
[概要] 心筋のナトリウムチャネル遮断作用によって頻脈性不整脈を抑制します。成人における頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、心室性）および小児における頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性）の適応を有しています。			
小児用細粒製剤（剤形追加）		日本 申請（2014年1月）	経口剤

開発品コード：E5501/AKR-501 一般名：avatrombopag

薬効／作用機序：血小板減少症治療剤／トロンボポエチン受容体作動剤			自社品
[概要] トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。			
手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症	310/311試験	日米欧ア P III	2015年度申請予定 経口剤
特発性血小板減少性紫斑病（ITP）	302試験	米欧ア P III	経口剤
C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症	203試験	米国 P II	経口剤

・手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症の適応についてグローバル臨床フェーズⅢ試験に日本も加わりました。

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年10月以降の進捗

開発品コード：E6005

薬効／作用機序：アトピー性皮膚炎治療剤／ホスホジエステラーゼ4阻害剤			自社品
【概要】 細胞内情報伝達物質サイクリックAMP の分解酵素であるホスホジエステラーゼ4の働きを阻害します。アトピー性皮膚炎の諸症状を抑える治療薬となることを期待しています。			
アトピー性皮膚炎	102試験	日本 P II	外用剤

開発品コード：E6011

自己免疫疾患/炎症性疾患(抗フラクタルカイン抗体)	P I / P II	自社品	注射剤
---------------------------	------------	-----	-----

開発品コード：MORAb-022

抗リウマチ剤 (抗体)	P I	自社品	注射剤
-------------	-----	-----	-----

開発品コード：E6007

○ インテグリン活性化阻害	P I	自社品	経口剤
---------------	-----	-----	-----

#### (4) 消化器・肝臓

開発品コード：E3810 一般名：ラベプラゾール 製品名：パリエット/アシフェックス

薬効／作用機序：プロトンポンプ阻害剤			自社品
【概要】 プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌、ラベプラゾールを含むヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用バック製剤などの承認を取得しています。2014年12月に低用量アスピリン投与時における胃潰瘍または十二指腸潰瘍の再発抑制に関する効能・効果および5mg錠の剤形追加の承認を取得しました。			
◎ 低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制および5mg錠 (効能・剤形追加)	308/309試験	日本 承認 (2014年12月)	経口剤
PPI抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法 (効能追加)	311試験	日本 P III	経口剤
機能性ディスペプシア (効能追加)	204試験	日本 P II	経口剤

一般名：cinitapride

薬効／作用機序：上部消化管機能改善剤			導入品 (Almiral)
【概要】 消化管神経叢に存在する5-HT <sub>2</sub> および5-HT <sub>4</sub> 受容体を刺激することによりアセチルコリンの遊離を増大させ、上部消化管運動を改善します。また抗ドーパミン作用も有し、ドーパミン受容体を阻害することによりアセチルコリンの放出抑制を解除し上部消化管機能を改善します。			
機能性ディスペプシア		中国 申請 (2011年10月)	経口剤

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年10月以降の進捗